

想像がつかない未来

マツナガ・タケオ

私の未来を描くことを、絵を描くことに例えます。

日本語・日本文化を学ぶ、スピーチ大会、来日、日本料理を食べる、期末テスト、アルバイト、冬休み、旅行する、日本料理を食べる、優秀な学生になる、NI 取得、日本語がペラペラになる、帰国、日本語の教師になる、日本料理を懐かしむ、大学卒業、仕事、結婚、家族、老人、天国。これで、自分の未来の下書き完了です。

絵を完成させるためには、「ある主人の素直な奴隷になって生きる」と言う自分の夢を紹介する必要があります。びっくりすると思いますが、説明させていただきます。

まず、奴隷制と言う中世にあったシステムは必ずしも悪いわけではないと述べましょう。重要なのは誰の奴隷であるかということです。正義感を持つ主なら、命令に従う限り、ただで屋敷に住んで、食事は毎日あるし、自分が心配することは一つもない。最高ではないでしょうか。まるで親子関係ですね。子供は親の言う事に従って、全て親が手に入れたもので、子供は何も努力せずとも、命すらも親からもらったものであり、親にお世話になったり、いたずらをしてしまっても許されたりして、子供は何も持っていないのに、ある意味で同時に全部を持つのです。遺産もありますし。

そう、そういう主の素直な奴隷になりたいです。しかし、そんなすてきな主はいったい、いるのでしょうか？朗報です。そんな優しく、哀れみ深く、愛しい主を私たちに見つからせました。ちなみに、もうすぐその方のお誕生日ですよ。受肉して、人類の近くに来てくれた神様、キリスト様なのです。私はキリスト様の奴隷、いわゆる聖人になりたいです。私のためにこの世に貧困に生まれてくれて、さらに貧乏のまま生きてくれて、さらに貧乏、服もなく親友に捨てられたにもかかわらず命を捧げてくれて、そして、復活してからは、聖体で世界中の各教会に私のためにいるキリスト様。その主のために自分の命、計画、未来、全てをやらないと意味がなくなると思っています。また、自分の未来を描いても、描いた通りになるとは限らないでしょう。それでもいい、その方がいい。神様の恵みで神様の望みに従っていくと神様が描いた、想像がつかない最高の絵画ができあがると信じております。